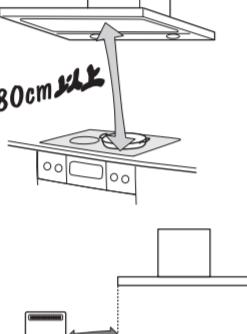


安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
 - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切羽の程度を示すために、誤った取り扱いをする生じるところが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
 - △警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 - △注意** 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
- お守りいただく内容の種類を次の総表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合には分解禁止）が描かれています。
 - 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合には電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
 - ・ 大工事【設置のための下地工事等】
 - ・ 配線工事【コンセントの設置、コーセント・コネクター利用以外の配線接続等】
 - ・ 管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者（販売店）を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
 - ・ ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・ 設工要是、各メーカーの標準施工手順技術指導書・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
 - ・ 調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 壁外壁面の排気出口を取り付けるペントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m³/h 時 50Pa以下のものをご使用ください。
 - ・ 防虫網付きのものは自詮まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に狭いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用ねじは45mmの長さのものが用意されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
- レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
- なお、製品取高さは、製品の下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。



- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
 - ・ また、横向き50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真正は高熱となるため故障の原因になります。
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因になります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で料理される場合は油煙が捕集されませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³程度の空気取入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

座付ねじ φ 5.1 × 45 (6本)

本体の取り付けに使用します。

ブッシュ (2個)

本体の取り付けに使用します。

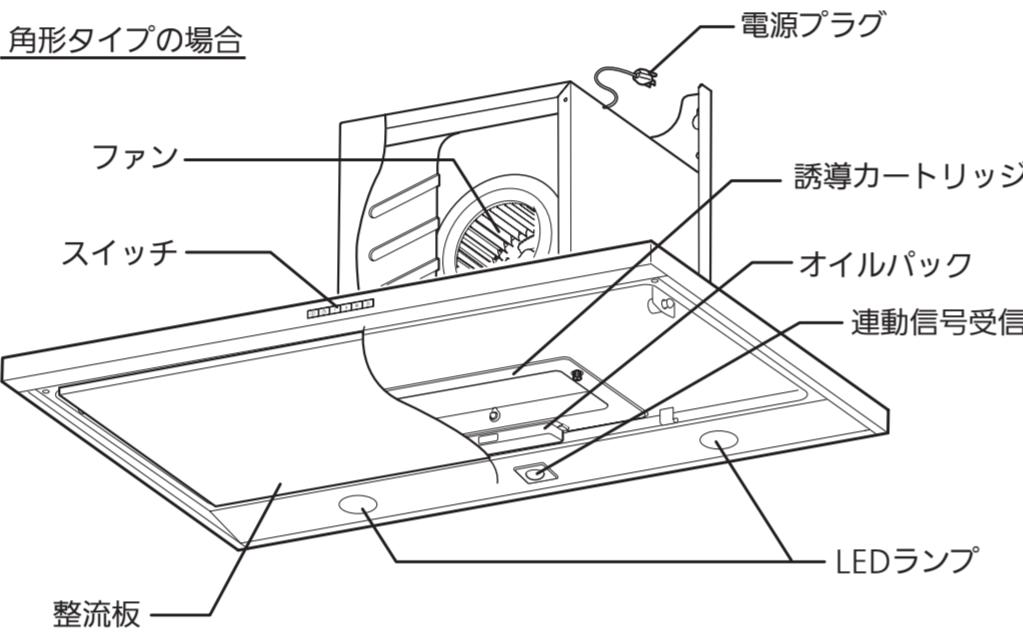
ソフトテープ (1本)

排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使用します。

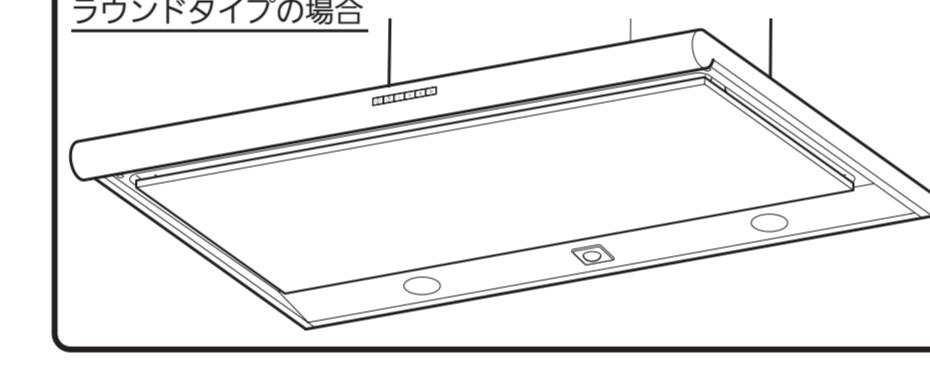
排気口 (1個)

本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。取付ねじは本体に取り付いています。

各部のなまえ



※下図のように型名によりフード先端の形状が異なります。



取り付け前の調査と準備

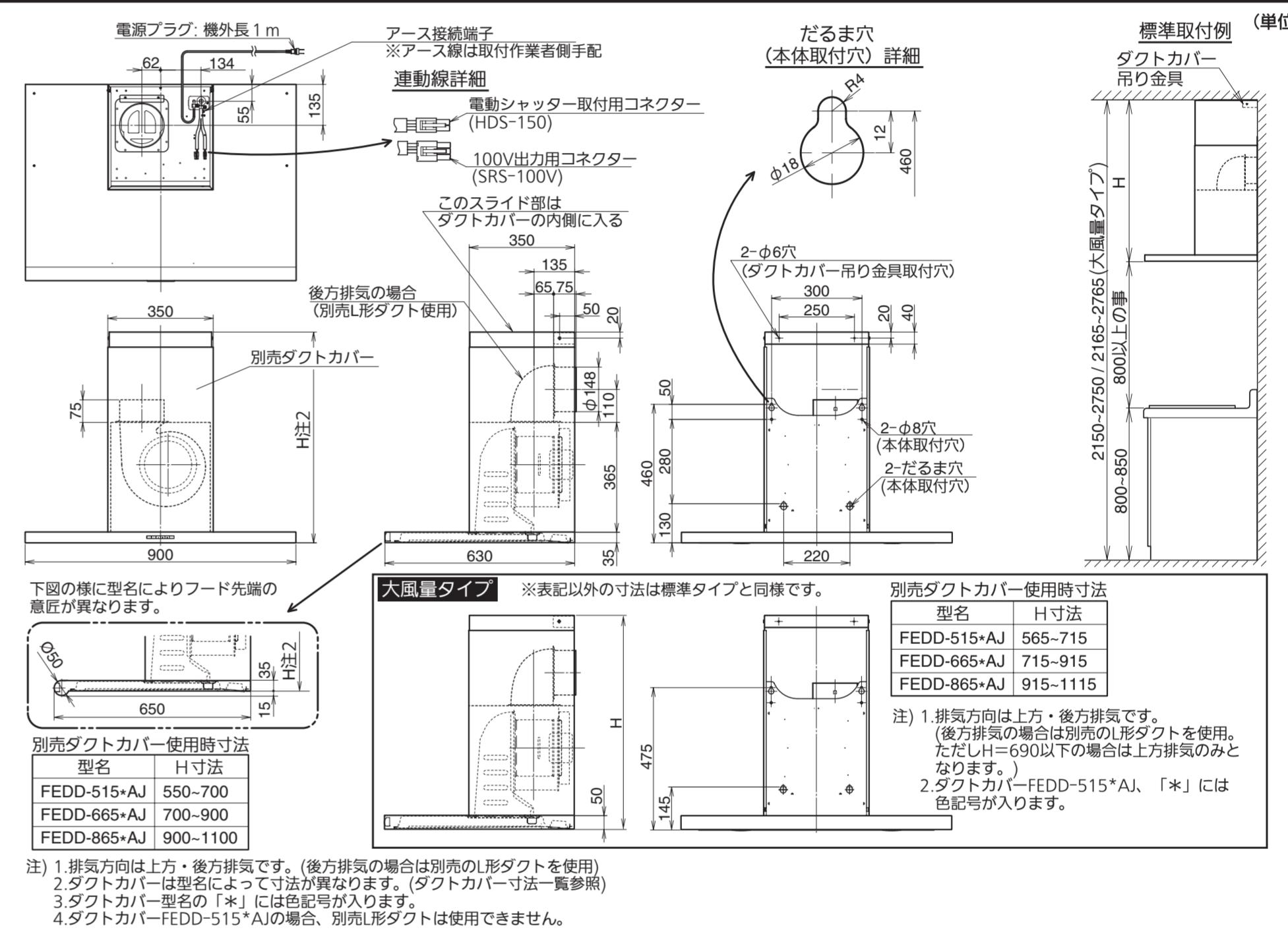
- △警告** レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
- △注意** レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- △警告** 交流 100V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
- △注意** 自然排気型のストップを使用するととき
は、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります
- △警告** レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落しによりがけをするおそれがあります

- 2 別売部品の準備**
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

- 3 標準取付法**
本製品の標準取付法は、調理機器の上面から製品の下端まで80cm以上です。
※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。

- 4 電源コンセント・ブレーカー**
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。
(交流・単相 100V)
コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

製品寸法図

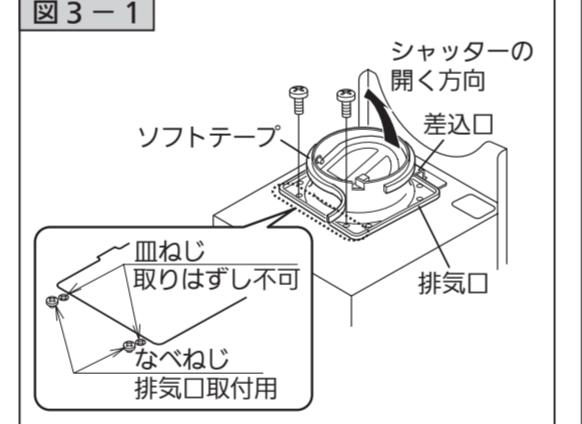


取り付けかた

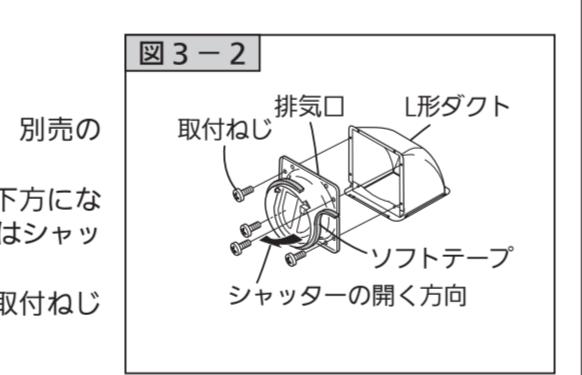
3. 排気用部品の準備

※「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意します。

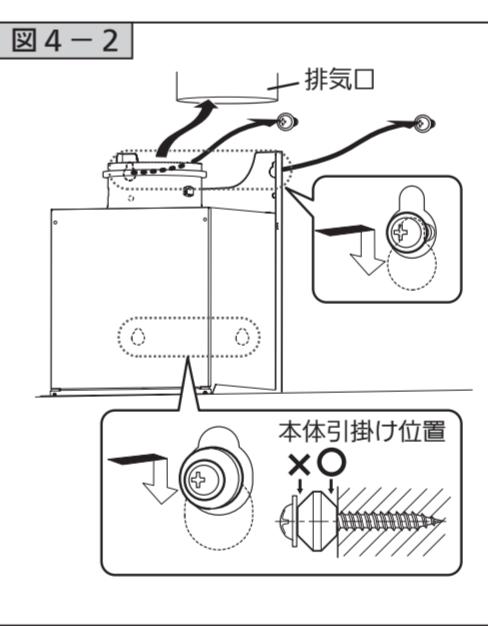
■ 上方排気の場合 (図3-1)



■ 後方排気の場合 (図3-2) (別売のL形ダクトを使用する場合)



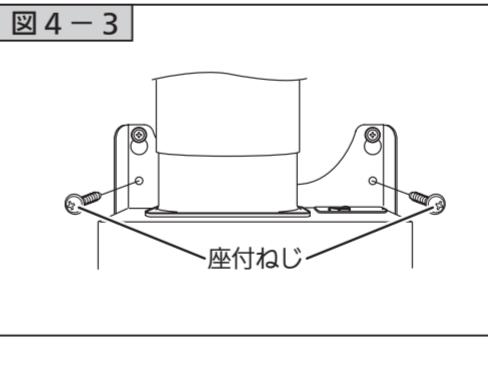
2 本体を引っ掛け固定します。(図4-2)



取り付けた座付ねじ4本に本体のだるま穴に引っ掛け後、上側2本をしっかりと締め付けます。

- お願い** 上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。
- 本体取り付けの際は、背面下側のだるま穴の切り欠きを必ず正しい位置に引っ掛け固定してください。製品が傾いて取り付けられるおそれがあります。

3 座付ねじ2本でさらに固定します。(図4-3)



上側だるま穴の下にある2ヶ所のφ 8穴に座付ねじ(φ 5.1×45)2本をしっかりと締め付けて固定します。

6. 電気配線

△ 警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

- 交流 100V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります

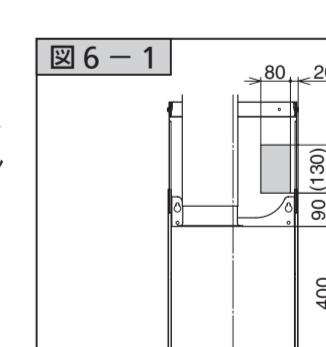
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は電火や火災の原因になります

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

- 1 アース (D種接地工事) を取ります。
※アース線は取り付け作業側にて手配します。

2 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 電源は専用のコンセント (2極差込接続器 15A、125V) およびブレーカーを設けてください。
- ・ コンセントは電源コードの長さを考慮し、ダクトカバーのサイズに合わせて右図の範囲内に設置してください。(図6-1)



7. 試運転

△ 注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります
- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 連続時、各速調と排氣が正しくつながっていることを確認してください。
- 异常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不良点で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

※表面は取付説明書になっています。よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。

原寸大型紙

(寸法単位は mm)

お願い

この型紙は温氣の影響で2~3mm誤差が生ずることがあります。
寸法をお確かめの上ご使用ください。

